

平成23(2011)年5月28日第94号

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

学習参観・学級懇談会が終わりました

4月30日から4週間、3回に分けて開催された学習参観・学級懇談会が終了しました。



保護者の皆様方はわが子の学習ぶりをどのようにご覧になったのでしょうか。また、子どもたちも日頃の授業と異なる態度で臨んでいた事だと思います。先生方も授業展開を工夫しながら、子どもの個性や特性を引き出し、保護者にわが子を再確認していただく場面設定もしていたかと思えます。



子どもたちに対する私の感想を下記に列挙します。

- ① いつもより、行儀がよかった。
- ② いつもより、学習に集中していた。
- ③ いつもより、よく挙手があった。
- ④ いつもより、私語が少なかった。
- ⑤ いつもより、身に入った学習となっていた。等々。



子どもたちは、保護者の参観があれば、当然緊張感もあろうし、学習意欲も向上するものなのです。また、保護者にとっても、わが子の一挙手一投足が気掛かりになって当然かと思えます。「学習内容を理解しているのだろうか」、「挙手しないわが子を見れば」、「分かっていないのだろうか」、と心配もします。先生の話や級友の発表などを聞いている様子が見られなければ、「キチンと聞かなければ、分からなくなるのに・・・。」と思うのが、親心です。そして、先生の質問に堂々と解答すれば「よくぞやった、我が息子よ！我が娘よ！」と快哉をあげたくなるのではないかと思います。でも、反対に解答が間違っていた場合には「残念、でも、あの質問は少し難解であったかも知れない。」とわが子の奮闘をほめてあげられる技量



も大切です。子どもたちは現地校と補習校の両方で勉強しているのです。どちらの学習も両立させるべき奮闘しているのです。保護者の皆さんも、わが子のバックアップで大変に頑張っているのです。我が子の頑張りが保護者の成長にも繋がっているし、家族愛の深化の基であると思います。保護者の皆さんがわが子に注いでいる愛情が、子どもたちが親になったとき、また、わが子に注ぐ愛情表現の基となるのです。

言葉を変えれば、保護者はやがてもつ孫教育の基も創造しているのです。



学級懇談会では、各学級担任が本校の教育目標や学級目標、また、学習の進め方について保護者にご説明申し上げました。

補習校の学習進捗は大変に速いので、家庭学習を抜きにしては、学力の定着も発展も、維持も考えられません。家庭学習の中心は宿題になるかと思いますが、その分量もかなり多いと思います。読書や既習漢字の定着などの復習、日記や作文もあります。子どもによっては、消化できないこともあるかと思いますが、最初から、「宿題の半分を・・・」などと限定しないで、最後までやり遂げようとする努力をしてほしいと思います。結果的に「できなかった」となっても、その努力は必ず自信や学習の成果となって、身についてくるものだと思います。

私は学期途中で転入してくる際の校長面接で「宿題は家庭に対して課せられたものでもありますから、子どもの宿題の点検やサポートをしっかりとやってください。」と常に話してきました。

1週間で1回しかない授業日をより充実あるものになりたいと思っています。補習校に来て、羽目を外す子どもの姿も時折見受けられます。日本語で自由に話し合えるうれしさもあり、理解はできますが、「補習校は勉強するところ」との意識を第一番に据えて臨みたいものです。保護者の皆様、共に頑張りましょう。

今、教室では・・・

中学部1年生国語科(担当宗吉)では、新聞記事などを読んでの感想をまとめる学習を継続しています。今回は下記の記事(概略)を読んだ感想を掲載します。

ウィスコンシン州の小5の少女が東日本大震災の被災者を支援しようと義援金活動を続けている。義援金は6671ドル(約54万円)に達している。

中1A 安達 果穂(土本学級)

まだ五年生の少女が、50万円近くをこえるという大金を被害にあった日本の人々に送る、などとても心の広い少女なんだ!と思いました。私も応援することしかできないけれど、この記事を読んでたくさんの人々が心から日本の復活を願っているのだと思いました。

中1A 富岡 利彩(土本学級)

まだ小学生なのにリーダーさんは、自分から募金活動に取り組んだのがすごいえらいと思いました。5ドルしか集まらない日があったらあきらめる人もいるだろうが、活動を続けたところがとても評価できると思いました。日本に行ったことがあってなんとかしたいと思う気持ちがわかりました。

中1A 野口 愛実(土本学級)

私がこの記事を読んで一番感動したことは、6671ドルも募金を集めたのがまだ小学5年生だったことでした。補習校でも募金活動をして、お金がいっぱい集まったと聞いてすごくうれしいです。この記事を読んで、子どもでも大人に負けないぐらい被災者の支援ができることを知りました。

中1A 木下 美颯(土本学級)

私は、この記事を読んでとてもうれしかったです。なぜなら全く関係のない他国の小学生までが3月に起きた日本の震災に関心をもち、一人で考えて募金活動などの被災者支援を行なっていることが分かったからです。

私もそのように、一人で考え、実行できるような人になりたいと思いました。

東日本大震災・大津波の復旧事業に加えて、福島原子力発電所事故も重なりました。被災者への支援はもとより、環境に与えた影響は真に大きいものがありました。復興には何年もかかると思います。私たちの支援活動も決して一過性のものとすることなく、息の長い支援活動を考えていかなければならないと思います。本校での義援金は、私が健康診断で帰国する日本から確実に送金させていただきます。

ご注意ください



① 忘れ物・落とし物について

文房具の落とし物や衣類や弁当箱の忘れ物がよくあります。教室を巡回中、床に鉛筆や消しゴムが落ちていて、私が拾い上げ、近くの子どもに所有者の確認をするのですが、「自分のものでない」と言います。学校に持参する文房具や教科書の準備は、できる限り子ども自身にさせてください。低学年では保護者が手伝うこともありましょうか、その時には一緒に準備して、「自分の学用品」であると確認もさせてください。

ただ、全般的に言えることは、品物に記名していないと言うことです。弁当箱などでは殆ど記名がありません。衣類等にも、目立たないところに記名なり印があれば持主に戻る確立が高くなります。

② 虫さされ対策など

補習校では、アレルギー体質の子どももいることから、虫さされの薬や消毒薬を設置していませんので、ご留意ください。個人的に虫さされ対策の薬を持参してくるについては、自由に行っています。

◆パトロール当番予定表6月4日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1	リーダー 小3	27	津田賢大
	2	28	鳥飼遥奈
	3	29	本村 奏
	4	32	寺門恵美
	5	33	馬込 悠
	6	35	ウィリアムズ新菜
	7	36	金山未来
★PM1	リーダー 小4	14	須田遥希
	2 小3	40	竹田健人
	3	41	安達日菜乃
	4	42	浅野大輝
	5	43	中村結花
	6	44	平山由美
	7	45	森 勇一朗



転出：川口真理(幼星) 中川航希(小1A)
小林瑠名(小2A) 篠島未樹(小3A)
福井寧音(小3A) 金子邦香(小3B)
川口寧央(小4B) 石山飛鳥(小4B)
小林奎太(小5A) 金子 元(小5A)

ヒューストンでのたくさんの思い出をもって、帰国後も元気で運動や学習に励んでください。益々の活躍を期待します。がんばって～!